

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—33446

⑬ Int. Cl.³
G 03 B 27/52

識別記号

庁内整理番号
6952—2H

⑭ 公開 昭和59年(1984)2月23日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑮ 複写機の露光装置

⑯ 特 願 昭57—143023
⑰ 出 願 昭57(1982)8月18日
⑱ 発 明 者 宮本順三

海老名市本郷2274番地富士ゼロックス株式会社海老名工場内
⑲ 出 願 人 富士ゼロックス株式会社
東京都港区赤坂3丁目3番5号
⑳ 代 理 人 弁理士 中村稔 外4名

明 細 書

1. 発明の名称 複写機の露光装置

2. 特許請求の範囲

複写機の全面露光式露光装置において、露光系のレンズの感光体側に、感光体に直接入射する光のみ通す大きさの開口が当該レンズから感光体への光路上部分に形成された遮光部材が設けられたことを特徴とする露光装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、複写機の露光装置に関するものであり、更に具体的に述べるならば、非画像光遮光部材を設けた全面露光式露光装置に関するものである。

全面露光式複写装置においては、全面像を一瞬に露光するために、原稿以外からの反射光即ち非画像部光も同時に露光系のレンズを通過し、そのレンズと感光体との間に配置されている様々な部品に当たって反射して感光体に入射し、像濃度にバラツキを生じさせる。そのために、従来の全面露光式複写装置では、そのような非画像部光の感光体への反射を防止するために、非画像部光を感光体に反射する原因である光路周囲の部品の配置を工夫したり、または、それら部品を表面処理して光を反射しないようにしていた。しかし、部品の配置を工夫することは、複写機のコンパクト化に伴う機械の高密度化等のため限りがあり、それよりも増して、設計の自由が妨げられる。また、周囲の部品全ての表面処理をすることは、費用の点